

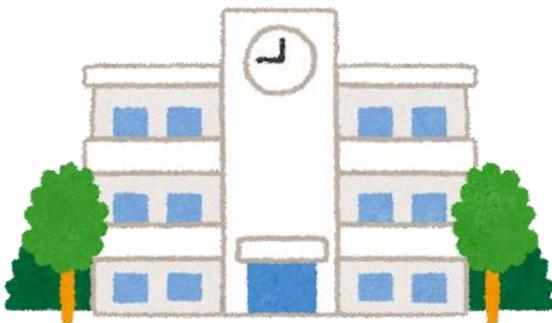
令和6年度
学校評価アンケート結果
(令和7年1月実施)



教職員アンケート

生徒アンケート

保護者アンケート



鹿児島県立鹿児島南高等学校

目 次

	ページ
令和6年度学校評価アンケートについて	1
教職員アンケート調査の分析と今後の対策	2
生徒アンケート調査の分析と今後の対策	3
学科別・学年別調査結果	4
結果分析と今後の対策	5～6
保護者アンケート調査の分析と今後の対策	7～8

令和6年度学校評価アンケートについて

1 目的

学校経営方針や教育活動全般に対する意識やニーズ等を把握し、学校運営の改善方向を探るとともに、その成果を把握し、鹿児島南高等学校の教育活動を更に充実・発展させる目的でアンケート調査を実施する。

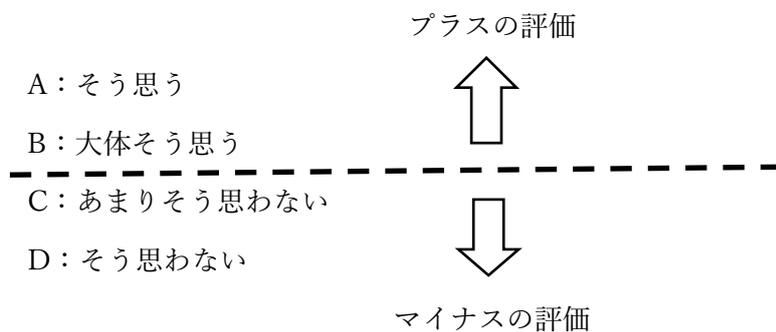
2 実施日

令和7年1月8日(水)～17日(金)

3 回収サンプル数

- (1) 教職員： 57 人
- (2) 生徒： 503 人
- (3) 保護者： 604 人

4 評価基準



1 教職員アンケート調査の分析と今後の対策

(1) 調査結果

No.	評価の観点（具体的な評価項目）	プラスの評価	A	B	C	D	前年度プラスの評価
			そう思う	大体そう思う	あまりそう思わない	そう思わない	
1	担当する校務を工夫・改善し、遂行できた。	95%	17	37	3	0	95%
			30%	65%	5%	0%	
2	SHRや終礼など機会あるごとに、生きていることや学ぶことの意義など人生を豊かにする話を生徒にしている。	91%	19	33	5	0	90%
			33%	58%	9%	0%	
3	学習と部活動が両立できるように学習時間の確保を配慮し、的確な学習指導を行っている。	95%	22	31	3	0	95%
			39%	55%	5%	0%	
4	生徒に将来の目標を掲げさせ、その実現に向け努力させている。	96%	25	30	2	0	94%
			44%	53%	4%	0%	
5	保護者や生徒に、進路に関する必要な情報をきちんと提供している。	95%	18	35	3	0	90%
			32%	63%	5%	0%	
6	分かりやすい授業を心がけ、基礎・基本をしっかり定着させる指導を行っている。	100%	26	29	0	0	98%
			47%	53%	0%	0%	
7	課題の量は適切であり、きちんと提出させている。	100%	26	29	0	0	98%
			47%	53%	0%	0%	
8	諸機会を通じて生徒の情報等を収集し、指導に生かしている。	98%	17	39	1	0	95%
			30%	68%	2%	0%	
9	自らの教科指導力を高めるための教材研究や指導方法改善に取り組んでいる。	96%	25	29	2	0	98%
			45%	52%	4%	0%	
10	頭髪や服装、挨拶などの礼儀指導や清掃指導に日々取り組んでいる。	98%	22	34	1	0	98%
			39%	60%	2%	0%	
11	いじめや不登校等について十分注意を払い、的確に対応している。	98%	26	30	1	0	97%
			46%	53%	2%	0%	
12	休み時間や放課後など、生徒がいつでも気軽に悩みが相談できるような関係づくりに努めている。	98%	20	36	1	0	95%
			35%	63%	2%	0%	
13	自分の教師力を高めるための自己啓発に努めている。	93%	19	34	4	0	95%
			33%	60%	7%	0%	
		96.5%					95.5%

(2) 結果分析と今後の対策

ア 全ての項目でプラスの評価が9割を超え、全体平均は昨年度より1ポイント向上しており、職員の熱心な取組が自己評価の結果にも現れている。

イ 項目6、7という学習指導に関する項目については100%という高い評価である。昨年度から朝課外が廃止になり演習時間の不足を課題の量と提出指導の徹底で補ったためと考える。

イ 項目8の評価はプラス評価が高いものの、「そう思う」（強い肯定）の割合は低い。「学校楽しい」と「進路希望調査」、アンケートフォームを活用した「心の健康観察」などで情報収集を実施しているが、指導に生かされていらないためと考える。

ウ 項目2の評価が最も低い。出席確認や連絡を効率よく行い、進路指導や保健の便り等を活用しながら、時期に応じた話をするよう共通理解を図る必要がある。また、進路に関する情報に関しては昨年より改善したが、「そう思う」（強い肯定）の割合は低い。学習指導要領の改訂による共通テストの変更や多様な入試形態を確実に把握し、発信していかなければならない。

2 生徒アンケート調査の分析と今後の対策

(1) 全体調査結果

I (学校や授業に関すること)

No.	評価項目	プラスの評価	A そう思う	B 大体そう思う	C あまりそう思わない	D そう思わない	前年度プラスの評価
1	充実した高校生活となるように様々な行事がある。	89%	160 33%	276 56%	52 11%	3 1%	87%
2	一人一人の進路希望に応じた進路指導に取り組んでいる。	90%	127 26%	314 64%	45 9%	4 1%	92%
3	就職や進学に関する様々な進路情報が提供されている。	89%	158 32%	279 57%	49 10%	4 1%	89%
4	交通安全や通学マナーの指導に積極的に取り組んでいる。	97%	273 56%	202 41%	13 3%	2 0%	97%
5	生徒の様々な悩みに親身になって相談ののってくれる。	79%	107 22%	279 57%	89 18%	15 3%	83%
6	いじめや不登校に積極的に対処しようとしている。	80%	102 21%	286 59%	86 18%	14 3%	82%
7	校則や学校のきまりは適切である。	36%	32 7%	144 29%	182 37%	132 27%	50%
8	授業内容を理解させるために、プリント作成等工夫している。	87%	139 28%	288 59%	53 11%	9 2%	90%
9	分かりやすい授業であり、かつ学力を伸ばしてくれる授業である。	83%	85 17%	320 65%	80 16%	5 1%	86%
10	日々の学習課題は学力を伸ばすのに適切な量である。	75%	95 19%	274 56%	102 21%	19 4%	81%
11	授業のレベルは適切で、授業の進み具合も適切である。	86%	108 22%	312 64%	63 13%	6 1%	90%
12	様々な活動において生徒の健康・衛生や安全に配慮している。	92%	166 34%	285 58%	35 7%	3 1%	95%
13	校内の施設や環境が整備されている。	97%	240 49%	233 48%	15 3%	1 0%	98%
14	部活動と勉強の両立が図れるように学習時間が確保されている。	74%	93 19%	268 55%	100 21%	26 5%	78%
15	部活動の活性化を目指して取り組んでいる。	93%	232 48%	218 45%	29 6%	7 1%	95%

II (自分自身に関すること)

No.	評価項目	プラスの評価	A そう思う	B 大体そう思う	C あまりそう思わない	D そう思わない	プラスの評価
1	生徒会活動やホームルーム活動、学校行事等に積極的に参加している。	92%	164 36%	251 55%	33 7%	5 1%	93%
2	授業は予習を十分に受けている。	49%	49 10%	183 39%	170 36%	70 15%	51%
3	授業態度は真剣で、集中して受けている。	92%	155 33%	276 59%	33 7%	6 1%	93%
4	定期考査や課題実力考査の対策のために復習にしっかり取り組んでいる。	79%	113 24%	261 55%	87 18%	10 2%	82%
5	学習の計画を立てて、宅習時間を十分確保している。	59%	72 15%	206 44%	155 33%	38 8%	62%
6	課題や提出物は、期限を守って提出している。	88%	221 47%	194 41%	40 8%	16 3%	89%
7	部活動と勉強との両立に努力している。	81%	152 33%	226 49%	57 12%	29 6%	81%
8	明確な進路目標があり、将来の進学先や就職先に向かって努力している。	78%	154 33%	211 45%	84 18%	20 4%	78%
9	服装・容儀・交通規則などを、鹿南高生徒としての誇りを持って行動している。	86%	147 31%	258 55%	46 10%	19 4%	89%
10	命を大切にすることや他人への思いやり、障がい者などへの理解に努めている。	97%	292 62%	166 35%	8 2%	4 1%	99%
11	ボランティア活動や地域行事などに積極的に参加している。	61%	99 21%	187 40%	138 29%	45 10%	63%
12	友人、先生方とよくコミュニケーションをとっている。	93%	208 44%	229 49%	28 6%	5 1%	94%
		81.5%					83.9%

(2) 学科別・学年別調査結果

I (学校や授業に関すること) プラス評価の割合

No.	評価項目	普通	商情	体育	1年	2年	3年
1	充実した高校生活となるように様々な行事がある。	88%	89%	91%	89%	91%	86%
2	一人一人の進路希望に応じた進路指導に取り組んでいる。	85%	93%	96%	94%	88%	89%
3	就職や進学に関する様々な進路情報が提供されている。	83%	95%	93%	88%	91%	88%
4	交通安全や通学マナーの指導に積極的に取り組んでいる。	96%	98%	97%	96%	97%	98%
5	生徒の様々な悩みに親身になって相談にのってくれる。	78%	76%	89%	79%	82%	74%
6	いじめや不登校に積極的に対処しようとしている。	79%	78%	84%	81%	78%	80%
7	校則や学校のきまりは適切である。	31%	35%	52%	27%	34%	48%
8	授業内容を理解させるために、プリント作成等工夫している。	86%	89%	89%	95%	82%	86%
9	分かりやすい授業であり、かつ学力を伸ばしてくれる授業である。	82%	83%	85%	84%	82%	83%
10	日々の学習課題は学力を伸ばすのに適切な量である。	69%	79%	85%	73%	74%	79%
11	授業のレベルは適切で、授業の進み具合も適切である。	81%	87%	96%	84%	89%	84%
12	様々な活動において生徒の健康・衛生や安全に配慮している。	90%	93%	96%	91%	91%	96%
13	校内の施設や環境が整備されている。	95%	98%	99%	97%	98%	95%
14	部活動と勉強の両立が図れるように学習時間が確保されている。	67%	84%	71%	74%	69%	82%
15	部活動の活性化を目指して取り組んでいる。	90%	94%	96%	93%	92%	93%

II (自分自身に関すること) プラス評価の割合

No.	評価項目	普通	商情	体育	1年	2年	3年
1	生徒会活動やホームルーム活動、学校行事等に積極的に参加している。	91%	92%	93%	91%	93%	91%
2	授業は予習を十分に受けている。	51%	51%	36%	46%	46%	57%
3	授業態度は真剣で、集中して受けている。	92%	91%	93%	91%	91%	94%
4	定期考査や課題実力考査の対策のために復習にしっかり取り組んでいる。	78%	84%	68%	76%	78%	86%
5	学習の計画を立てて、宅習時間を十分確保している。	59%	64%	43%	54%	50%	79%
6	課題や提出物は、期限を守って提出している。	84%	91%	96%	90%	86%	90%
7	部活動と勉強との両立に努力している。	76%	87%	82%	79%	82%	84%
8	明確な進路目標があり、将来の進学先や就職先に向かって努力している。	77%	82%	66%	68%	74%	96%
9	服装・容儀・交通規則などを、鹿南高生徒としての誇りを持って行動している。	83%	88%	93%	86%	86%	86%
10	命を大切にすることや他人への思いやり、障がい者などへの理解に努めている。	98%	97%	98%	99%	97%	97%
11	ボランティア活動や地域行事などに積極的に参加している。	57%	67%	55%	48%	65%	71%
12	友人、先生方とよくコミュニケーションをとっている。	94%	90%	98%	93%	91%	95%
平均		79%	84%	83%	80%	81%	85%

(3) 結果分析と今後の対策

ア 全体

【学校や授業に関すること】

- (ア) 「校則や学校のきまり」についての評価は前年度も最も低かったが、さらにその割合が低下した。昨今、校則の見直しについての報道が多くなり、校則の見直しが必要であるという考え方が強くなってきているためではないかと考えられる。まずは、生徒と職員が一緒になって、校則の重要性と指導のあり方、基準について考えていく必要がある。また、就職・入試担当者、マナー講演会等による啓発の工夫を行っていきたい。
- (イ) 「交通安全指導」については自転車通学生にヘルメット着用を義務化したことや危険箇所への周知、通学時の交通安全指導もあり評価が高い。
- (ウ) 「悩み相談」「いじめ・不登校対応」がやや低下している。生徒が安心・安全に過ごせるように、体制作りと注意深い見守りが必要である。
- (エ) 「部活動と学習の両立のための配慮」、「学習課題の量」については、今年度も低い評価であった。教職員の自己評価では適切であると考えているところから、生徒と教職員間のギャップが大きいことが分かる。「分かりやすい授業」「授業の進み具合」についても評価を下げていることは朝課外の廃止による影響も考えられ、朝課外がない状況における授業の在り方を再検討しなければならない。
- (オ) 「施設や環境」は評価が高く、新校舎や今年度に渡り廊下も完成して利便性が高まり、快適な環境で生活していることがわかる。

【自分自身に関すること】

- (ア) 「宅習時間」「考査対策の復習」「課題や提出物」についての評価が2年連続で下がってしまった。生徒の自主的な学習を支援していきたい。
- (イ) 「授業の予習」の項目について、昨年度に引き続き低い評価であった。反転学習が注目されているので研究をするとともに、Classi等を活用して予習に取り組む方法などを検討していきたい。
- (ウ) 「ボランティア活動や地域行事」についての評価が低い。部活動に熱心に取り組んでいる生徒が多いため、参加する時間の確保が難しいようだ。しかし、大会の補助員として運営の手伝いをする部は多数あり、奉仕的な活動に携わっている生徒は多い。ダンス部や吹奏楽部、生徒会執行部の生徒が地域行事に参加して、大いに盛り上げていた。生徒への行事の周知を一層図り、参加を促したい。
- (エ) 「進路目標」については昨年度に評価を下げたままで推移しており、明確な進路目標が定まっていないことが学習に関する評価の低さにも影響していると考えられる。進路について考えるきっかけとなる活動を段階的に設けて、早期に進路目標を決められるようにしていく必要がある。
- (オ) 「思いやり」についての評価が高く、実際に思いやり溢れる行動への感謝の連絡を受けることが多い。今年度から善行表彰を始めたが、困っている人を助けたり、道路に散乱していたゴミ回収したりするなどした生徒11人を表彰した。

イ 学科別

- (ア) 体育科は「進路指導」「悩み相談」に関する評価が高く、教職員の指導と情報提供のもと競技力を生かした進路実現のために迷い少なく努力していることが見て取れる。一方で、「予習」「復習」「宅習時間」についての評価が低いため、授業外での学習を充実させる必要がある。一方で、「課題や提出物」や、「校則」、「誇り」についての評価は他の学科に比べると高く、きまり事を守る意識が高いと考える。
- (イ) 商業科・情報処理科は全体の評価平均が最も高く、「復習」「部活動と勉強との両立」「宅習時間」という学習に関する項目と「進路目標・努力」という全て自分自身に関する項目の評価の高さが要因であり、進路目標の実現のために商業に関する学びを充実させている。
- (ウ) 普通科は「部活動と勉強との両立」「課題や提出物」の評価が低く、普通科としての学習量と他学科の部活動生と同様の練習量・成果の達成に苦慮している。学習と部活動ともに効率化を図る手立てを検討する必要がある。

ウ 学年別

- (ア) 「校則」については1学年の評価が最も低く、中学校までとのギャップによるものであろう。3年生は「校則」についての評価がやや高く、進路を選択する時期が近づくとつれ、校則の意義を改めて理解できているものと考ええる。
- (イ) 1年生は、中学校に比べて科目数が増えることにより学習に関する項目の評価が例年は低い傾向にあるが、今年度はそのようなことはなく、特に「授業の工夫」や「課題や提出物」の評価が高くなっている。「進路目標への努力」は低いが、早期の目標設定と目標実現に向けた取組が加われば、さらなる向上が図れる。また、1年生は高校における学習や部活動に慣れることに懸命なためか、「ボランティア活動や地域行事への参加」の評価が極端に低い。
- (ウ) 3年生が全体の評価平均が最も高い。進路に関する評価項目の「進路目標に向けた努力」は3年生が極めて高く、進路実現に向けて懸命に取り組んでいることが分かる。しかし、例年は進路に関する他の評価項目も高いのだが、今年度は他の学年と大差なかった。

3 保護者アンケート調査の分析と今後の対策

(1) 調査結果

No.	評価項目	プラスの評価	A そう思う	B 大体そう思う	C あまりそう 思わない	D そう思わない	前年度 プラスの 評価
1	本校が掲げる「文武両道～活力にあふれ、自己実現に向けて邁進する学校」は、目指す学校像として適切である。	92%	214 36%	335 56%	40 7%	5 1%	92%
2	学校は基礎・基本をしっかり定着させる授業や、分かる授業に心がけている。	85%	101 17%	404 68%	83 14%	4 1%	87%
3	学校は学習指導において、一人一人に応じた個別指導に力を入れている。	62%	71 12%	296 50%	211 36%	14 2%	66%
4	学校は学力向上のために、十分な取組を行っている。	77%	94 16%	362 61%	131 22%	7 1%	81%
5	学校は就職指導や進学指導にしっかり取り組んでいる。	83%	142 24%	352 59%	93 16%	7 1%	89%
6	学校は自宅学習を十分確保するために、適切な量の課題を出している。	74%	92 15%	348 58%	140 24%	15 3%	79%
7	学校は進路に関する十分な情報を生徒や保護者に提供している。	77%	117 20%	341 57%	125 21%	12 2%	79%
8	学校は生徒指導にしっかり取り組んでおり、生徒の頭髪、服装、挨拶が良い。	92%	266 45%	280 47%	33 6%	15 3%	91%
9	学校ではいじめ・不登校等に対して、的確な対応がなされている。	88%	115 20%	393 68%	65 11%	7 1%	87%
10	学校では教育相談等、日頃から生徒をよく理解する態勢が整っている。	83%	130 22%	359 61%	90 15%	13 2%	84%
11	学校では部活動と学習の両立ができるよう、部活動の時間に配慮がなされている。	77%	113 19%	341 58%	114 19%	20 3%	76%
12	学校は交通安全や通学マナーの指導に十分取り組んでいる。	94%	243 41%	318 54%	28 5%	5 1%	93%
13	学校は様々な学校行事に取り組み、高校生活の充実を図っている。	95%	232 39%	329 55%	27 5%	5 1%	91%
14	学校は生徒の健康や安全に十分配慮した教育活動を行っている。	94%	184 31%	374 63%	31 5%	4 1%	92%
15	学校は様々な教育活動について、情報発信や広報に取り組んでいる。	90%	160 27%	372 63%	60 10%	1 0%	92%
		84.2%					85.3%

(2) 結果分析と今後の対策

- ア 全体的には、プラスの評価の平均は 84.2%と昨年度とほぼ同じであった。最も評価が低かったのは「3 個別指導」、次に「適切な量の課題」であり、学習指導に関する項目であった。要因として朝課外の廃止が考えられるが、特記事項への記入に朝課外についての記入はほとんど見られない。課題の量は体育科以外においては多すぎるという記述が複数見られた。中教審の答申において「指導の個別化」と「学習の個性化」が示され5年が経過したが、本校においてもその対応を急ぐ必要があり、組織的な学力向上策を検討しなければならない。
- イ 「1 文武両道～学校像として適切」の評価が高い一方で、「11 部活動の時間」の評価は低く、特記事項への記述でも練習時間が長いという意見が多くある。本当の意味での文武両道、保護者や地域からの理解を得られる部活動であるように学習とのバランスを考えた活動をしなければならない。
- ウ 「8 生徒の頭髪、服装、挨拶がよい」「12 交通安全指導」という項目が、高い評価を得た。しかし、一方では校則が厳しすぎるのではないかという意見も寄せられている。それらを精選し、検討していく必要がある。